

商品の組み入れと梱包

3箱分作る

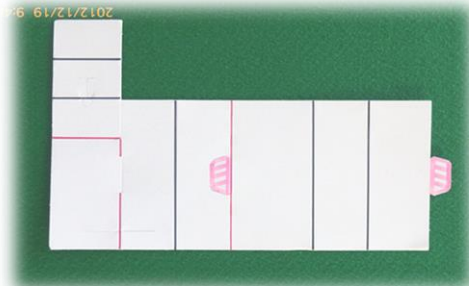
完成品の組み入れの状態



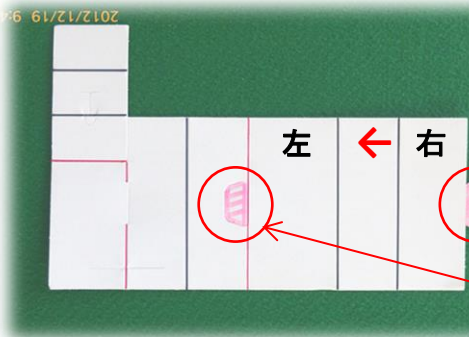
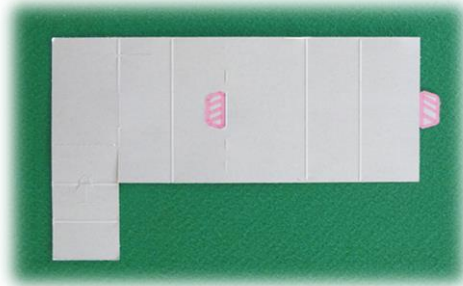
1. 化粧箱の中敷きを組み立てます。

組立前(展開図)

表面



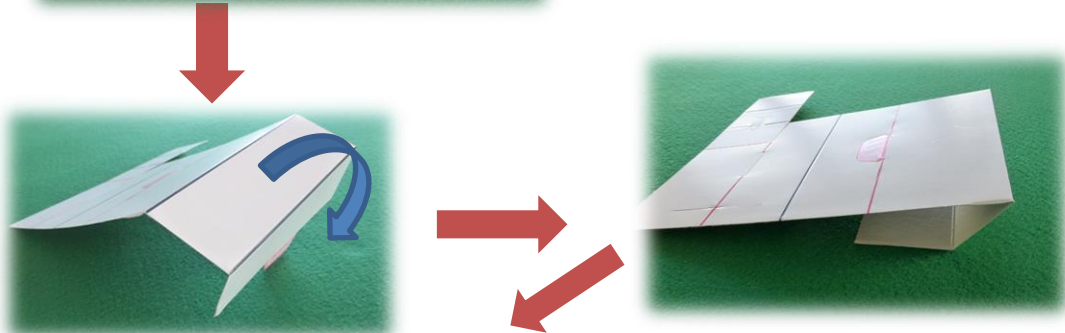
裏面

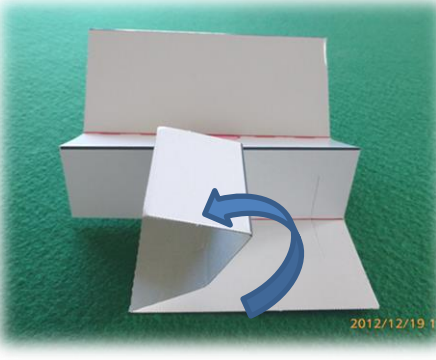
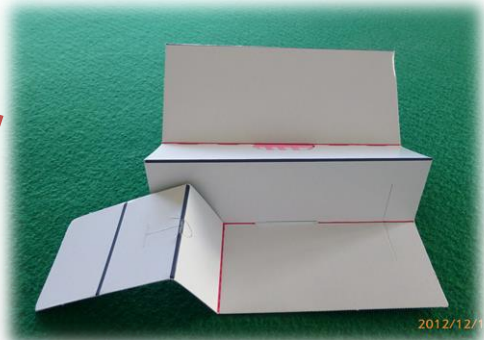
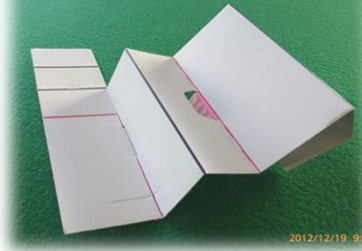
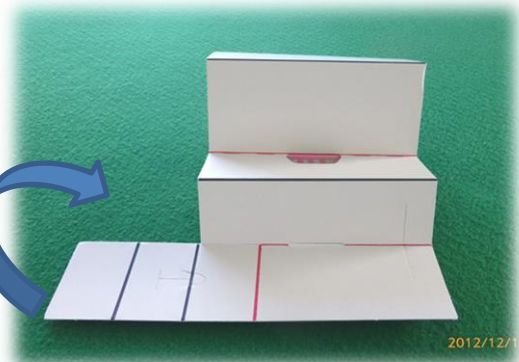
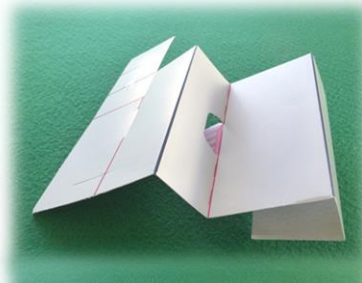
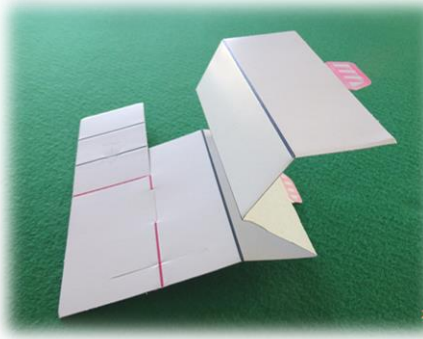
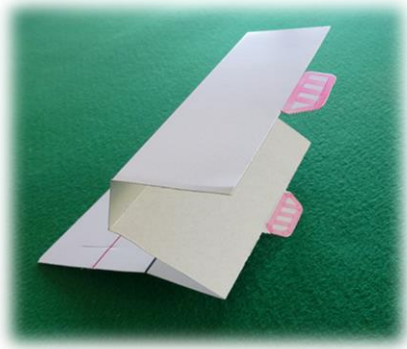
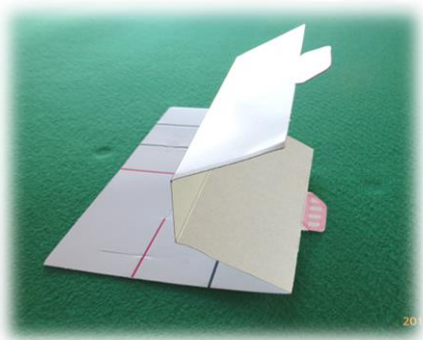


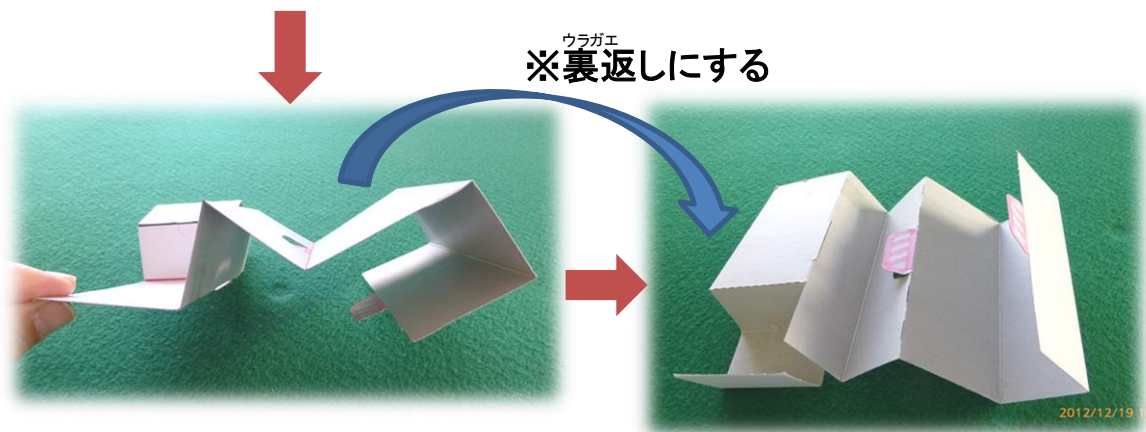
オモテ
表面を上にして、右側より左側に向け、谷おり、山おりを間違えずに折っていく。

— 谷おり
— 山おり

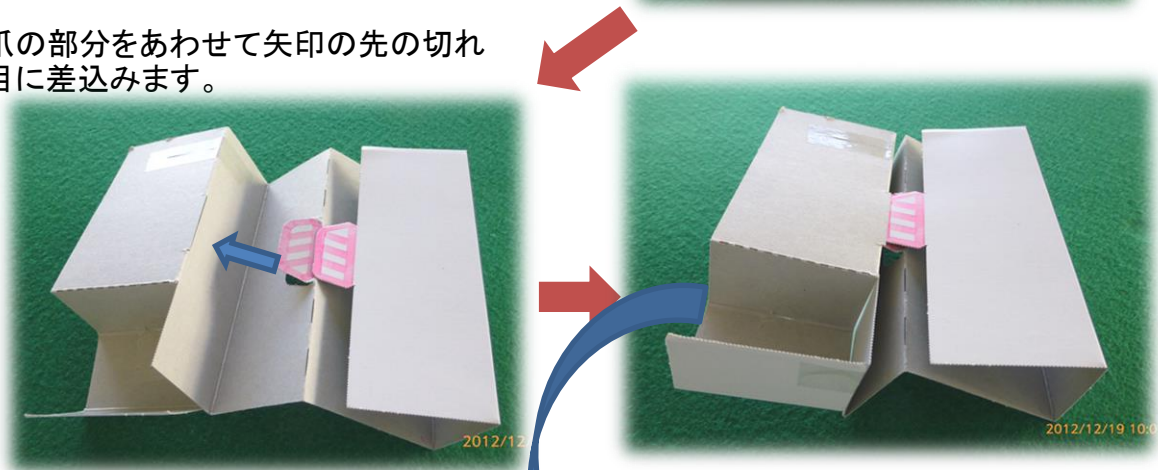
注意 ○の部分(爪(つめ))は、折り目が付かないよう注意してください。



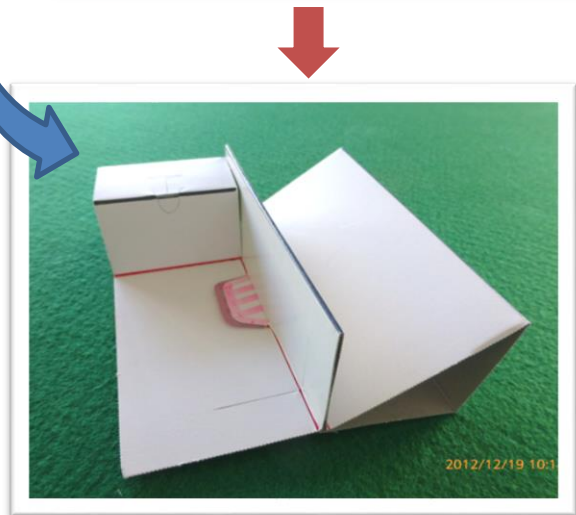




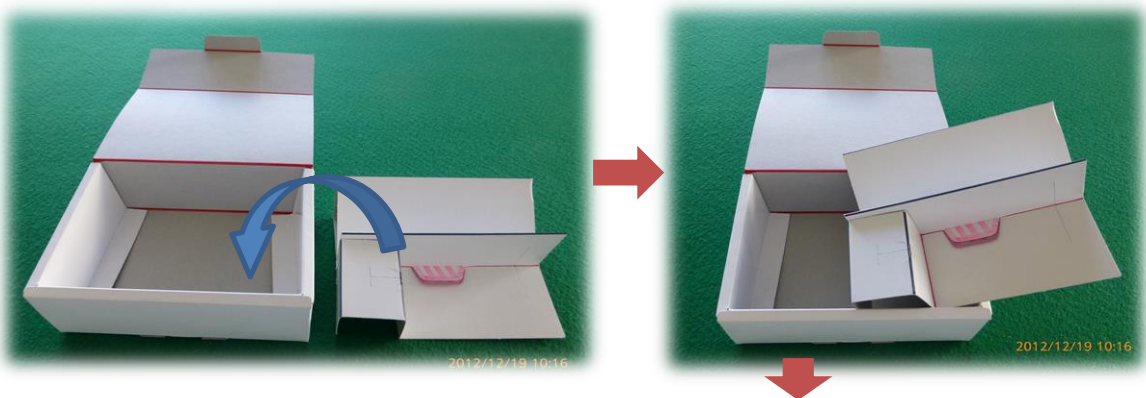
爪の部分をあわせて矢印の先の切れ目に差込みます。



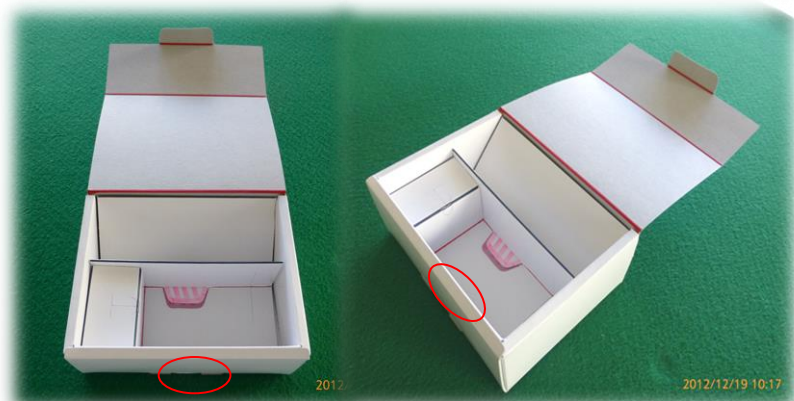
※化粧箱の中敷きの完成



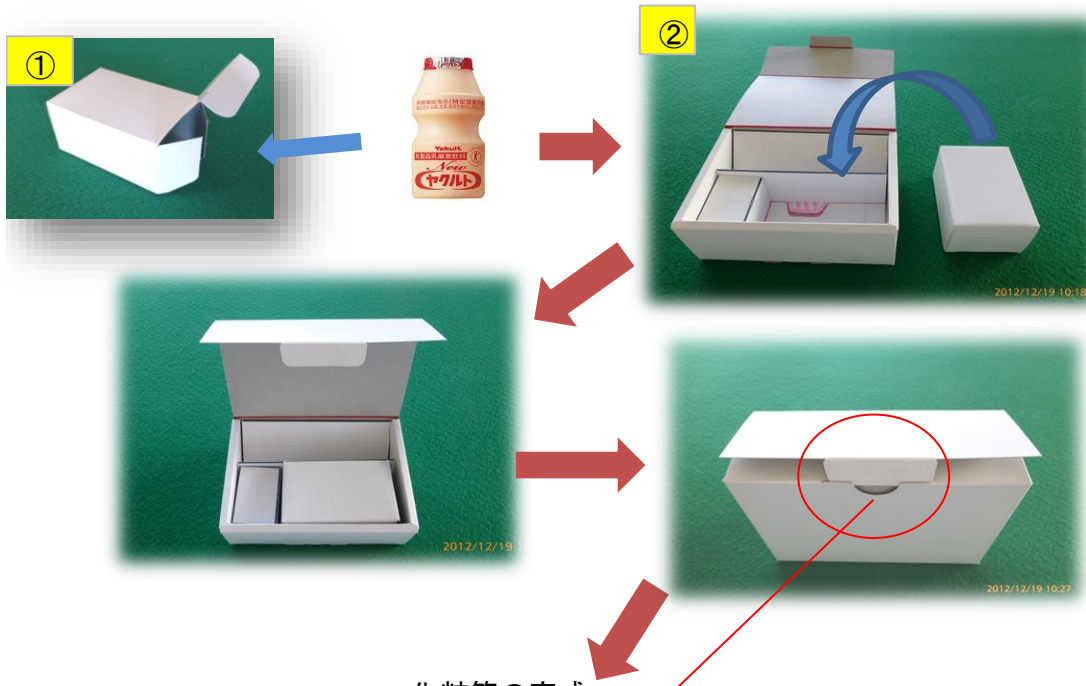
最後に中敷きを化粧箱の中へ組み入れる。



中敷きを化粧箱へ組み入れ



小箱の中に商品(ヤクルトの空容器)を入れて化粧箱の中にセットする。
注意)小箱の爪の差込みを下にする。



化粧箱の完成



爪の部分を矢印の方向に差し入れて蓋を閉めて、化粧箱が出来上がります。

注意)化粧箱のふたの爪を下にしてセットする。

中敷き、商品の小箱が入った化粧箱を36個つくります。

(注意事項)

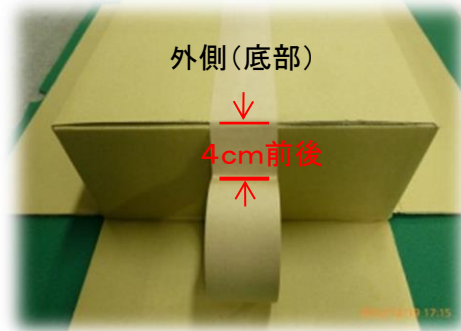
- ①ヤクルトの空容器を小箱に入れる時は、ヤクルトの空容器の飲み口が上になるように入れること。
- ②ヤクルトの空容器を入れた小箱を化粧箱の中にセットする時は、ヤクルトの空容器の飲み口の方が、中敷きの出っ張った部分の方向になるようにセットする。
- ③その際、小箱の爪の差込みが下になるようにすること。

外箱段ボールの組み立て

外箱段ボールとガムテープを準備します。

外箱段ボールを組み立て、底をガムテープで止めます。

ガムテープの折り返しは、4cm前後です。(3~5cmはOK)



商品の梱包

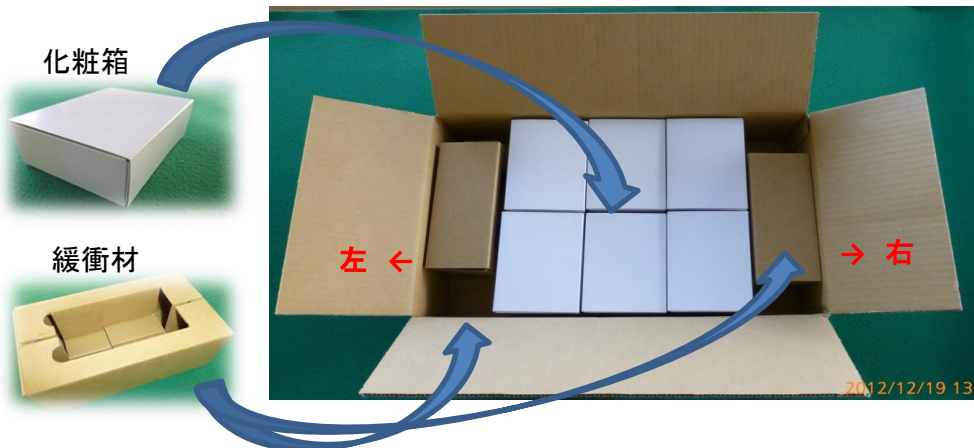
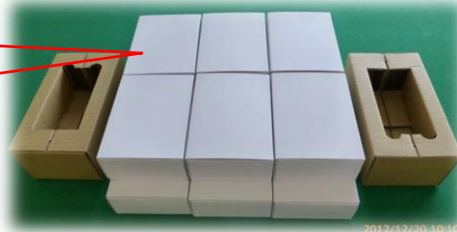
次のものを用意します。

中敷き、商品の小箱が入った化粧箱を 12個

緩衝材 2個

外箱段ボール 1個

ガムテープ



化粧箱(商品入り小箱の入った)12個と 緩衝材2個を
外箱段ボール1個に入れてガムテープで止めたら
1セットが出来上がります。

組み立てた外箱段ボール箱に化粧箱(商品入り小箱のに入った)12個、緩衝材2個を向きに気をつけながらセットする。

注意)

- ・化粧箱の爪の差込み口が同じ右側を向くように、12個をセットする。
- ・方向がバラバラでは減点となります。

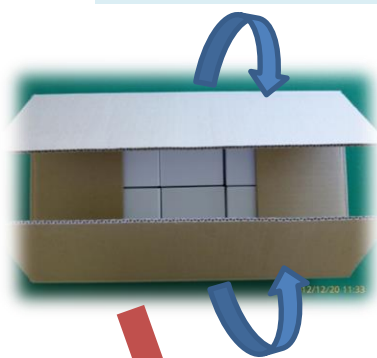


注意)

- ・緩衝材の穴が開いている方を外側に向けて両サイドの空いているところにセットします。
- ・緩衝材の向きは同じになるようにして下さい。方向がバラバラでは減点となります。
- ・穴の形が左右同じ方向になるようにセットして下さい。
- ・穴の形が同じであれば、上下どちらでも構いません。



全部がセットできたら、四方の蓋を閉めてガムテープで止める。
ガムテープの折り返しは、4cm前



※これで、
1セットが**完成**です。

